

平成30年度 学校教育課 主たる事業（実績）

1. 次代の親の育成について

①職場体験学習の実施

社会人・職業人としての基礎的な資質や能力を身につけ、生徒の「生きる力」を育成するため、自分の将来の生き方や進路を模索し始める中学2年を対象に、職場体験学習を実施しました。

- ・参加生徒数： 市内6中学校2年 383人
- ・協力事業所数：207事業所

2. 学校教育環境の整備について

①授業研究指定校事業の実施

「学び」の基礎・基本となる教科の学習を充実させるため、授業研究校を指定しました。各指定校に指導主事が継続的に指導に入り、授業公開と事後検討会を主とした研究発表会を実施しました。

- ・指定校：志摩小学校・磯部中学校・東海中学校・磯部中学校

②学校ICT環境の整備

学習指導要領の改訂により、コンピュータ等を活用した学習の充実やプログラミング的思考の育成など、情報活用能力の育成が求められます。そのために必要となるICT環境を整備するため、先行して東海小学校で無線LAN環境の整備やタブレット端末等の配備等を行いました。

③学校防災学習事業の実施

市内全教職員を対象とした防災教育研修会を実施するとともに、指定校における防災教育の充実に努めました。

- ・指定校：神明小学校・鵜方小学校・文岡中学校

また、南海トラフ地震や様々な災害に対応する力を身につける防災学習等の経費への補助を行いました。

- ・対象校：大王小学校・志摩小学校

④学校支援地域本部推進事業（子ども未来教室）の実施

子どもの学びを保障するため、志摩中学校区で「しま子ども未来教室」を実施しました。学習習慣の確立と基礎学力の定着を目指し、小学4・5・6年を対象に、毎週水曜日に志摩文化会館で約1時間の学習支援を行いました。

実施日数： 42日

利用児童数：1日平均15人（登録児童数25人）

令和元年度 学校教育課 主たる事業（計画）

1. 次代の親の育成について

①職場体験学習の実施

社会人・職業人としての基礎的な資質や能力を身につけ、生徒の「生きる力」を育成するため、自分の将来の生き方や進路を模索し始める中学2年を対象に、職場体験学習を実施します。

2. 学校教育環境の整備について

①授業研究指定校事業の実施

学習指導要領のねらいを実現し、子どもの「主体的・対話的で深い学び」の実現に向け、基礎的・基本的な内容を確実に定着させるとともに、思考力・判断力・表現力を育成する創意ある授業づくりについて研究協議を進めることにより、教師の指導力向上、子どもの学力向上を図ります。

・指定校：神明小学校・文岡中学校

②学校ICT環境の整備

学習指導要領の改訂により、コンピュータ等を活用した学習の充実やプログラミング的思考の育成など、情報活用能力の育成が求められます。そのために必要となるICT環境を整備するため、先行して実施した東海小学校に引き続き、市内各小中学校に無線LAN環境の整備やタブレット端末等の配備等を行います

③学校防災学習事業の実施

市内全教職員を対象とした防災教育研修会を実施するとともに、対象校における防災教育の充実を図ります。

・指定校：東海中学校・東海小学校・浜島小学校

また、南海トラフ地震や様々な災害に対応する力を身につける防災学習等の経費への補助を行います。

④学校支援地域本部推進事業（子ども未来教室）の実施

子どもの学びを保障するため、志摩中学校区で「しま子ども未来教室」を継続実施するとともに、新たに大王中学校区で「大王子ども未来教室」を実施し、学習習慣の確立と基礎学力の定着を目指します。